シリーズ 探訪 わが町文化財 その106

如意輪寺の弘法大師像

中野地区にある如意輪寺は、弘法大師の開基と伝わり、鳥屋城の城主であった畠山氏とその城代であった神保氏の菩提寺とされる真言宗の寺院です。

如意輪寺に伝来する写真の弘法大師像には、鳥羽法皇が熊野御幸の際に寄進したという寺伝があります。江戸時代には寺宝となっていたことが分かりますが、伝来の詳細については明らかではありません。

この弘法大師像は、椅子に座る弘法大師を絹地に描いたもので、向かって左前方を向き、手には密教で使用する五鈷杵という道具と数珠を持っています。椅子の下には靴と水を入れる容器（水瓶）が置かれています。このような表現は、高野山で弘法大師が入定する際に弟子の真如親王が描いたと伝わる「真如親王様の大師像」と呼ばれるものです。「真如親王様の大師像」は、水瓶が向かって右に配置されることが一般的ですが、如意輪寺のものは向かって左に配置されており、この点で珍しいものです。

如意輪寺 弘法大師像
縦：111.8 ㎝　横：78.2 ㎝

画像は全体に退色が進んでおり、擦れによる剝落も多くあるものの、眼光は鋭く、唇に朱をさした表情には生気が感じられます。その表現は、高野山に伝来する弘法大師像の中では鎌倉時代の作例に類似するところがあり、如意輪寺の弘法大師像は鎌倉時代にさかのぼるものと推定されています。高野山上の作例を除くと、和歌山県下で現在確認されているうちでは最も古い弘法大師の肖像画と考えられ、大変貴重な文化財です。

現在、近年の調査で新たに確認された優れた宗教美術を紹介する企画展が和歌山県立博物館で開催中です。如意輪寺の弘法大師像も展示されているので、この機会にご観覧ください。

●県立博物館企画展「きのくにの宗教美術」

期間／10月3日（日）まで

●〒643-0021 和歌山県有田郡有田川町下津野 2018-4
●有田川町役場企画調整課　TEL 0737 - 52 - 2111（代）
●E-mail　b.kikakuzaisei@town.aridagawa.lg.jp
●ホームページ URL　https://www.town.aridagawa.lg.jp